

NPO 法人 日本森林療法協会の活動内容

NPO 法人 日本森林療法協会では、次のような事業を行い、広く市民の健康増進に寄与することを目的として 2007 年秋に創設されました。

- 森林を活用した健康づくりに関する情報の収集・提供事業
- 森林を活用した健康づくりに関する研究事業
- 森林療法に関する人材育成事業
- 森林療法に関する普及啓発事業
- 森林療法の推進方策の検討・支援事業

また、具体的には、

- ・ 森林環境を利用した健康づくり（生活習慣病の予防など）
- ・ 森林環境を利用した心身の保養効果（リラクゼーションなど）
- ・ 森林環境を利用した心理的な効果
（森林でのカウンセリング、メンタルヘルスなど）
- ・ 森林環境を利用した作業療法（森林療育）
（心身に障がいを抱えた方との活動）
- ・ 森林環境を利用したリハビリテーション
（大気療法、気候療法、地形療法など）
- ・ 森林環境を利用した子どものケア
- ・ 森林療法を行うことができるような身近な森林さがし
- ・ 地域・郷土の健康食について

など、幅広く森林の保健休養機能について取り組みます。

【会員の種類】

- 正会員（個人・団体）
- 賛助会員（個人・団体）

の 2 種類があります。

【部会の種類】

- 医療部会：医療として、「治療」と「予防医学」の視点での森林療法の研究および普及
- 福祉・療育部会：ケア・療育としての森林療法の研究・普及
- 森林・自然ガイド部会：健康づくりとしての森林療法（医療スタッフのバックアップを受けながら）の研究・普及

○ネットワーク・団体交流部会：森林療法に関する各地域との交流の4つの部会があります。

【委員会の種類】

- 森林フィールド委員会
全国の各地域で、森林療法に適した森林環境の情報交換と提供を行います
 - 研修委員会
森林療法に関する研修会を企画・運営します
 - 編集委員会
本協会発行の「季刊 森林療法」の編集を企画・運営します
- の3つの委員会があります。

今後もさらに新たな部会や委員会ができる予定です。